

## 横浜市はインフルエンザの流行期に入りました！ 施設への持ち込みと感染拡大を防止しましょう！

- ◇ 市内では学級閉鎖が報告されています。
- ◇ インフルエンザワクチンの接種によって感染予防や、重症化を予防することができるかとされています。ただし、接種すれば絶対にかからないというものではありません。そのため、一般的な感染対策を実施しましょう。

### 1 感染拡大防止

#### 職員の健康管理の徹底

- ◆ 出勤前の検温（発熱者は勤務しない。）
- ◆ 発熱などの体調不良時は出勤前に必ず管理者へ報告するよう指導
- ◆ 職員のマスクの着用を推奨（症状が出る1日前からウイルスが排出されます。）

#### 施設内での感染対策

- ◆ 咳エチケット、手洗い又はアルコールによる手指消毒の実施  
（登園・登校時や食事の前など）
- ◆ こまめな換気の実施
- ◆ 共有物やよく触れる場所・物の消毒  
（インフルエンザウイルスの消毒には、次亜塩素酸ナトリウム、70%以上の濃度のアルコールによる消毒、加熱（80度、10分間以上）が有効とされています。）
- ◆ 保護者等への注意喚起（今後の注意報・警報にご注意ください。）

### 2 流行情報の確認

横浜市衛生研究所では、原則毎週木曜日に「横浜市インフルエンザ流行情報」を発出します。区ごとの発生動向を公表していますので対策にお役立てください。

- ◆ 横浜市衛生研究所HP（市内の最新の感染症発生状況）  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/idsc.html>

### 3 参考情報

横浜市保健所では、「冬の感染症予防啓発」の一環として、保健所ホームページに「手洗い」をテーマに啓発ポスターを掲載しています。

- ◆ 横浜市保健所HP  
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/hokenjo/hokenjo.html>

- ◇ 自由にダウンロードできますので、施設内での感染予防対策にご活用ください！！

